夕刊
二月二十日發行
定價一ヶ月郵金六拾錢（郵稅拾五錢）
廣告料金（普通欄）一行一回金六拾錢（連續）五回以上一行一回金九拾錢
編輯兼發行人　中村孝太郎
印刷人　中村孝太郎
發行所　磐城新聞社
磐城市平字紺屋町十六番地
電話平五番
日曜祭日翌日休刊

九々いらず珠算に就て

吉田松雄

十八

珠法より此の方法は小生が數年各地補習學校で教授した經驗によると、生徒の會得する點に於ても時間の經濟の點に於ても効果の甚大なる事と認めて居る

例一

42÷7＝6

實際二、法七

計算法

實と法を見合せ、實少い故實を二桁迄見る、斯くすると四二は七の何倍かを見て六倍と云ふ事が判る、答の立方は法の桁數だけ實の桁を見て、實少い時は直ぐ上であるから四の直ぐ上に答六を置き法七と答六を掛け合せ7×6＝42を答の直ぐ下を十倍として四二を引く

此れで答が出來たわけである

何等筆算と違つた事はない

例二

142÷6＝22

計算法

法六を左の方に置き實一西二を右の方に置く

前例一の方法に依り實一の直ぐ上に二を立てゝ2×6＝12を立てた答の直ぐ下位を十位として引く

此の時の盤面二〇一二となる

次に實一の直ぐ上に二を立てゝ2×6＝12を引く

此の時の盤面答二二となる

此の算法をやる爲めに左の逆九々を練習すること

逆九九

二一が二　三一が三　三二が六　四一が四　四二が八　四三—十二　五一が五　五二—十　五三—十五　五四—二十　六一が六　六二—十二　六三—十八　六四—二十四　六五—三十　七一が七　七二—十四　七三—二十一　七四—二十八　七五三十五　七六—四十二　八一が八　八二—十六　八三—二十四　八四—三十二　八五—四十　八六—四十八　八七—五十六　九一が九　九二—十八　九三—二十七　九四—三十六　九五—四十五　九六—五十四　九七—六十三　九八—七十二

除法位取の方法

總て實（被除數）の單位の桁より左に數へて法（除數）の位數より二桁左の桁が商（答）の單位となる

例へば

37145÷47＝の場合實三の有る桁が單位となるわけである

即ち法の頭が十位なれば實の十位より二桁左が商の單位となる（一位）

除法二の段

1234568790÷2＝617284395

計算法

六を立てゝ2×6＝12を引く

一を立てゝ1×2＝2を引く

七を立てゝ7×2＝14を引く

二を立てゝ2×2＝4を引く

八を立てゝ8×2＝16を引く

四を立てゝ4×2＝8を引く

三を立てゝ3×2＝6を引く

九を立てゝ9×2＝18を引く

五を立てゝ5×2＝10を引く

春のたより

野口雨情

（1）

春のたよりのはし書きに
梅も咲いたと書いてある
梅は咲いても春淺く
風のつめたい日がつゞく

（2）

寒い風でも春は春

習慣性に就て

前松佐嘉

（五）

それと同じく同一の事を繰返してゐる中に習慣は漸次構成されるのである、尤も兒童の有する本能から出發するものや又內部的必要に基く自發的のものは多くの反復を要ねなくとも、その既扱の方法宜しきを得れば比較的容易に成立するものである。例へば兒童の好まない文字を立派に書かせようとするには中々骨が折れて何十回となく無理に反覆せしめなければならないが遊戯上の技能のごときは存外速く上達するも微てもわる

二　幾度反覆しても注意なしの反覆は無益である

同じく反覆するにしても意識的にするのと無意識的に基くのと二樣にあるが、少しの注意もなく機械的にやる事は全く無効とは言へない。併し効果には何なる善い事でも子供の年齢に應じて耐え得る程度にせねばならない

三、爲さんとする事かあまり困難で、それが爲に勞を感せしめる時は習慣は成立しない

子供は大人に比較して見て非常に倦きやすい性質を有つて居るから無理に一定のごとを反覆させると、その結果は遠く勞を感じて仕事そのものに興味を感じない樣になる、隨つて仕事に精神を集注しないから習慣の構成には役立たない故慣の構成には役立たない故

四　構成せんとする習慣の或る觀念を得るためには慣備的の觀念が必要である

子供が學習をなす場合でも慣備的觀念があると無い方が、その成績の上に非常な相違があると同樣、凡ゆる一つの良習慣をつけようとするには豫めその準備觀念の仕事を與へて置く必要がある練習がこの事はよい事だと思つても出しぬけに遣らされては子供は不意打を食ふわけだから夫れを快よく行ふ筈はない

社會の今日

○

野を燒いて雉子は鳴すなりにけり　子規

あげ潮のなまあたたかいあさやけに鰊がかがる濱の初春　勝見詩藝堂

講談　浪人長屋

日岐武志作
月草蘆子畫

（18）

船部屋

女、女、女、女……

甚吉は世の中のあらゆる女といふ女が呪ふべきものにみえた

わすれやうとて、わすられない、小花のかほが、ふを救はれた船頭勘兵衛の娘

船頭勘兵衛の娘お鈴が、によい行燈の蔭りで縫ひものをしてゐたが

『あ、おかへり』

と、顔をあげてわづかに笑を浮べてみせたが、すぐと針に眼を落した

——まあ、よつて來たんだよ、やな男だ、ほんに毎夜のことだから相手にしない方がいゝと思つてゐる

どさッと、甚吉は火鉢の前にすわると、フーッと熱い息を吐いて、うつ柿くさい息を吐いて、うつ向いてゐるお鈴の桃割をぎら〳〵と睨んだ

相手にしないお鈴が甚吉にはもの足りないのだ

『お鈴ッ！』

よつてかへると甚吉は命つと眼の前に浮かんでは、きえた

『賣女めつ！』

と口癖にどなつた

腹のなかが、やけに煮えくりかへつてたまらぬのだよひごとに盛り場で酔ふほどしれてゐた、酔へば酔ふほど眼だけが、ぎらぎらと不氣味に凄く冴えてくるのだ

今宵もまた、よひしれての中の、すやきの德利をゆらしてゐた、酔へば酔ふほど眼だけが、ぎらぎらと不氣味に凄く冴えてくるのだ

『ふッ』

とふきだすと

『なにがをかしいッてんだ』

笑ひをぢつと堪へてお鈴はそれつきり默りこんでしまつた

それが萬吉にはものたりなかつた、誰にも相手にされないさびしさである。なにか大聲で怒鳴つてみたいので

『お鈴ッ』

と、矢庭にさけんで、甚吉はお鈴の襟を摑んで膝の上にひきよせた、ぱつと赤い裾がひるがへつた

『あつ、何すんのッ』

『お前ッ』

甚吉は、お鈴の蕾のやうな唇にきつと咬みついた

『痛いッ』

と、さけぶお鈴を、羽がいしめにして甚吉は、尙もきりきりに咬みついて、くるしく叫んだ

『鈴坊ッ、鈴坊ッ、俺あ、もつてこい、と甚吉は眼をいつた

『少し、あるやうだわ』

『鈴坊ッ、鈴坊ッ、俺あ、もつてこい、と甚吉は眼をいつた

德利と飯茶碗を添へて出すと、甚吉は酒を注いだ。茶碗に六分通りしかなかつた

『ちぇッ』

と舌打して、投出した德利はゴロゴロとわらつてゐるやうに部屋のすみへ轉がつて行つた

お鈴はそれがをかしかつた

『ふッ』

とふきだすと

『なにがをかしいッてんだ』

笑ひをぢつと堪へてお鈴はそれつきり默りこんでしまつた

それが萬吉にはものたりなかつた、誰にも相手にされないさびしさである。なにか大聲で怒鳴つてみたいので

『お鈴ッ』

と、矢庭にさけんで、甚吉はお鈴の襟を摑んで膝の上にひきよせた、ぱつと赤い裾がひるがへつた

『あつ、何すんのッ』

『お前ッ』

甚吉は、お鈴の蕾のやうな唇にきつと咬みついた

『痛いッ』

と、さけぶお鈴を、羽がいしめにして甚吉は、尙もきりきりに咬みついて、くるしく叫んだ

『鈴坊ッ、鈴坊ッ、俺あ、もつてこい、と甚吉は眼をいつ

新學年の御用意
小學生用 中學生用　ランドセル（三十種）
女學生用 一般用　手提カバン（三十種）
マルトモ柴田書店
電話 五九七番 二三四番

眼科專門
院長 吉田安雄
醫學士 吉田久雄
吉田眼科病院
平町紺屋町電六八八

急告
今回東京某大書店の整理品新古書籍及額縁を澤山に入荷致候、就ては來る舊正月一日より十日迄大投賣致候間何卒二度とない此の機會を逃がさず澤山と御買求の程願上候
平町五丁目（大工町通り）
新古書籍 額縁類　袋屋書店

新車御披露
三十四年式デラックスセダン入車致しました。貸切の御用の節は是非御試乘を御願致します。
最新型セダン揃ひました
電話六四〇番
尼子タクシー

夜診療
胃腸病專門
內科　胃腸病科　花柳病科　性病科　皮膚科
松村性病胃腸科醫院
（平町南町電一〇七番）

本縣ノ鄉土民謠生ル
コロムビアレコード
福島音頭……
（其ノ一節）
『ハアー磐城平のツツジケ岡に咲いたアノ花　流す浮名は新川にソレサッテも平はヨイトコロ手拍子揃エテヨーイヤサ……』
コロムビア特約店　會田時計店
平四丁目　電・三六三

石炭
コークス
玉炭
平驛前
阿部石炭商店
電話三七番

銘木ト建築木材ノ御用命ハ
今一番勉强スル當店ヘ
平町字紺屋町四〇
建築材一式 建具材 便利瓦
織田材木商店
電話四六〇番
極優良材碁將棋盤アリ格安讓リタシ。

磐城共濟病院　電話六四一番 一二四番
內科 小兒科 婦人科 外科 皮膚性病科 耳鼻咽喉科 X光線科 物理療法科 藥局 衛生試驗所
醫學博士 石山謙郎
醫學士 有馬勇二郎
副院長 醫學士 五十嵐雄二
部長 醫學士 有馬勇二郎
醫學博士 石山謙彥
技術員 石山
藥局長 藥劑師 吉本孝平
獸醫 高後利雄
事務長 鈴木寮雄
△診療時刻 午前八時より午後五時迄

日本一
富士自轉車
指定販賣所
フタバ商會
平。新川町。月見橋際

小兒科專門
附內科
志賀醫院
平白銀町十番地
（前伏見町長跡）
電話（呼出）六五〇番

設立明治廿八年
實堅礎基
有給社員數名募集
男女ヲ問ハズ奮鬪家ハ來タレ
固定給及月收多大希望者ハ午前中來談アレ面會ノ上相談ス。
共保生命保險株式會社
磐城監督所
所長 福島健之
平町白銀町一〇
磐東代理店主管 加藤丈夫
平代理店主管 金子豐吉

安價で効果的な天然加里肥
最も適應する作物!!
蔬菜、馬鈴薯、里芋、しゃうが類
◎茄果類ではトマト、茄子の如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防ぎます
天然加里肥は酸性でないから
◎如何に施用しても土壤を惡變する虞は絶對にありません
一俵　參拾錢
（大量取引は特に割引致します）
製造販賣　金成國雅
平町鎌田　電話六八八

貨物自動車の御用命に應じます

緩急を案配考量して
結局前年より四千圓減
編成技術鮮かな青沼町長から
けふ平町の豫算内示會

平町では今二十日午後一時豫算内示會を開いたが九年度豫算は稅收入の縮少と新規財源皆無である上に教育費の膨張、都市計劃に要する費用等のために九年度豫算は編成難に陷り總豫算額三十五萬圓を下るまいと見られてゐたが事業の性質上緩急按配に愼重の考慮を拂つた青沼町長の鮮やな査定の結果八年度豫算より四千圓減少の三十三萬四千圓となつたがこのうち重なるものは教育費十一萬圓、町債償還費五萬八千圓、役場費五萬圓で、これがために止むなく戶數割一戶平均一圓の增額を斷行し五千圓を捻出すると

各校授業料値上
千九百圓を浮かす

前記内示會を前にして平三の結果、小學校、商業學校小學校長は午前十一時から共二十錢値上げに大体決定町役場に會同、昨年より二した尙これが値上げにより千六十一圓增加の來年度豫算七萬八千二百圓に依る授業料値上げに關し種々協議圓であると

捻出される金額は三小學校約一千圓、商業學校が九百

難問の鹿島村長は
志賀助役昇格決定
三つ巴の競爭段落

去る十七日で任期滿了となつた鈴木鹿島村長後任者に就ては鈴木氏の再選か志賀助役の昇格派其他野心家の擁立あり各方面に亘る暗中飛躍が決定村會日の切迫と共に一層拍車を加へた形ちで果して誰がこの椅子を占むるか興味をもつて觀られて居たが此程の村會で愈々志賀前裁助役の昇格に決定した

二坂新村長
佐藤助役昇格

町村制施行以來の村長である田子英吉氏を失つた三坂湯跡組合村は三派鼎立して後任村長の爭奪戰を演じて居たが此程の村會で助役佐藤金藏氏が昇格就任した

郡下小學視察

本縣男子師範附屬主事、視學委員幸野岩雄氏は來月一日より郡下小學校の教育一般を視察するが今回は各校に於て二時間は授業參觀、一時間は學校の設備、施設見學

別方面に寶庫を探る
七億噸を埋藏する新鑛區？
地方歲界に耳寄りな話

豊饒なる炭田の石城地方は從來永い間一攫千金を夢見る利權屋によつて盛に試掘權の出願が行はれ此等資力薄弱な階級によつて作られた滯納鑛區稅は今や平稅務署の少からぬ荷厄介となつてある程で過般來他地方に金山の鑛區出願が續出するに反し石炭鑛區は新規の出願が皆無で數年間鑛區の動搖がなく寧ろ鑛區は整理減少の過程をたどつてゐる、こゝにおいて財政的に基礎を有する小資本の石炭鑛業といふ莫大な炭層が未開發のまゝに死藏されてあるか燃料の杞憂はこの一事で完全に解消される譯である、さらに一歩を進めて宮城縣方面等は差し當り密接な關係は無いとしても隣接双葉郡に亘る中生層地帶に期待される炭層が開發されるにおいては地方の炭鑛事業について心配はさらに影を消すであらう。夢の樣な寶庫の實在について某專門家は語る

現在の所東北の石炭田は第三紀層中において活動してゐるだけで中生層については何等檢討されてゐない、何れ近い將來には人氣が中生層に注がれるであらう。云々

宿望茲に成つて
九面隧道竣功式
廿二日擧式の賑ひ

工費二萬四百九十圓で昨年二月着工の縣境九面トンネルは既報の如く完成愈々明後廿二日午前十時から縣より係官(多分土肥土木課長)臨席の下に盛大な竣功祝賀式を擧行するので勿來、平濱兩町では彌が上にも盛大ならしむべく協賛會を組織して目下準備に大童である

同トンネルは大正十五年當時から相次ぐ土崩れの爲時には死傷者を出した事あり、これが改修は地元民から幾度か陳情され

別方面に寶庫を探る
七億噸を埋藏する新鑛區？
地方歲界に耳寄りな話

豊饒なる炭田の石城地方は從來永い間一攫千金を夢見る利權屋によつて盛に試掘權の出願が行はれ此等資力薄弱な階級によつて作られた滯納鑛區稅は今や平稅務署の少からぬ荷厄介となつてある程で過般來他地方に金山の鑛區出願が續出するに反し石炭鑛區は新規の出願が皆無で數年間鑛區の動搖がなく寧ろ鑛區は整理減少の過程をたどつてゐる、こゝにおいて財政的に基礎を有する小資本の石炭鑛業といふ莫大な炭層が未開發のまゝに死藏されてあるか燃料の杞憂はこの一事で完全に解消される譯である、さらに一歩を進めて宮城縣方面等は差し當り密接な關係は無いとしても隣接双葉郡に亘る中生層地帶に期待される炭層が開發されるにおいては地方の炭鑛事業について心配はさらに影を消すであらう。夢の樣な寶庫の實在について某專門家は語る

現在の所東北の石炭田は第三紀層中において活動してゐるだけで中生層については何等檢討されてゐない、何れ近い將來には人氣が中生層に注がれるであらう。云々

舊年賀廢止

渡邊村の更生策

渡邊村では自力更生の第一歩として本年から舊年賀廻禮を廢止し十六日午前十時

約廿五萬圓增收
豊漁だつた昨年の小名濱

小名濱町磐城水產工業株式會社鮮魚委託販賣部調べによる同港入船別水揚額は

地船五十三萬千三百二十九圓十八錢	萬六千六百二十二圓、煮干萬六千五百十貫以下の品目六千五百六十五圓
廻船五十二萬六千五圓十六錢	一萬七千六百四、同十貫以下の品目六千五百六十五圓
合計百五萬七千三百八十四圓三十四錢	計十萬七百八十七圓の高額に上つてゐる

で、前年度に比し地船十萬千六百五十五圓九十錢、廻船十四萬六千一百七十八圓四十九錢、合計二十四萬七千九百三十四圓三十九錢

同港魚肥及煮干製造高は魚肥七入船別水揚額は

入港一萬隻

去年の出入船舶

昨年度に於ける小名濱入港機械底曳三、三三四　網船二、〇六三　揚繰網一、二五八　流二二　大敷網二九八　鰹船一、三三七

昨日の烈風に
八十枚橋壞ところ
夕刻辛じて應急工事成る

草野、雫井兩村間の縣道六十枚橋(延長六十間)は昨十九日の烈風で午後二時頃中央の橋桁六間餘が墜落、直に平七木監督所から係員が出張同村青年團員などの援助で復舊に努めた結果同夕刻辛じて應急工事を終つた

用便を裝つて乘逃げ
新手の薩摩の守に
近く平區で公判開廷

住所不定無職双葉郡熊町村大字小入野赤野谷地生れ吉田幸作(二四)が去る八日正午頃茨城縣多賀郡日立町宮田一二二一貨物自動車業堀江常太郎方に至り叔父である原町驛助役が今度退職して日立鋼山に働く事になつたから引越荷物の運搬を頼むと稱し賃金四十圓の約束で午後二時頃同家運轉手石川二三男同助手木下幸太郎と同乘出發、同六時半頃富岡町入口の坂路に差掛つた處突然腹が痛むとて用便を裝ひ行衛を晦まして捕はれた事件は過般來平區三堀檢事係り取調べ中の處近く中島判事係り公判を開廷すると

春陽に映ゆる金馬簾
小名濱消防出初めに
けふ盛大な授與式

工事、撒水自動車の設備並小名濱警部補派出所同巡査駐在所に對する電話架設等に盡したるの功勞特に顯著なりとす仍て金馬簾二條を授與す

福島縣警記官從五位講察部長　渡正　監

四平街より
青木　壽

次は元本縣警部にして目下南滿の治安維持に從事の通り嚴寒零下三十五六度しつつある氏(夏井村出身)が此頃、〇〇との連絡其他で仲程同窓生平町會議員酒井氏に寄せた近信の一節々面白い事もあります、磐から同村小學校で永山村長を初め村議區長其他有志五

十三日會は隔月開催
昨日の總會で決定

存廢の運命を決する十三日會總會は昨十九日午後七時半から〜ルトモホールに開かれたが特別會員五名、普通會員十一名、計十六名會合、大森醫師議長席に就き種々協議した結果會自身を修發するものでなく會員つて町民大衆に呼掛け修養の資たらしめねばならぬ此の會を廢止する事は會の歷史と創〜の精神とに對し忍びないとの意見叫ばれ隔月開催する事に決定同九時解散した

五靈神社造營
神谷村鎌田五靈神社々司草野眞三氏は應朽した同社の再建を計るため曩に奉職した內郷村第一小學校當時の同窓生百五十名より一名宛一ケ年五十錢の代拜する事になつて昨年度から引越荷物の運搬を頼むと稱し賃金四十圓の約束で午後二時頃同家運轉手石川二三男同助手木下幸太郎と同乘出發、同六時半頃富岡町入口の坂路に差掛つた處突然腹が痛むとて用便を裝ひ行衛を晦まして捕はれた事件は過般來平區三堀檢事係り取調べ中の處近く中島判事係り公判を開廷すると

運轉手騙し送檢
去る十一日情婦戀しさから運轉手を騙まして東京から石城郡に入り込み運轉手を出し拔いたが自動車を持て餘して車內のオーバー、手袋、帽子等を竊取、平署に逮捕された當時東京市足立區千住東町大谷勝次郎(二三)は東京方面に於ける犯罪嫌疑などで取調べ中だつたが愈々今廿日身柄を檢事局に送られた

平商卒業式
平商校では來月二日卒業生送別會を開き五日から休業十二日卒業式を擧行すると

中出身者も大分渡滿して居ります
夕日も今では何んとなく日本で見る夕景の樣です（中略）磐中の校友會員名簿があるなら一部送つて呉れ、昔を憶ひ、又渡滿者中での任地等も知り度いから、これは是非頼むよ

（十五日）

巡回診療日割
縣衛生課の郡下巡回診療は今二十八日(水)歸稅

小川江順調に進行
連日人夫二百五十名出動

小川江筋第一期工事は舊臘末日竣功すると着工當時は人夫不足から少からず惱まされて居たが現在では

大室二七、下小川一二〇

平窪一〇〇

合計二百四十七名が出動順調に進工中で該工事は來月十日鹿島村を皮切りに開始したが爾餘の日割左の如くである

△二十一日箕輪、△二十二日永戸、△廿三四日川前、△廿六日貝泊、△二十七日石住

平賀校長榮轉
元磐中教諭北海道廳立八雲中學校長平賀仙三郎氏は此程同廳立室蘭高等學校長（高等官三等待遇）に榮轉した

愛林標語募集
綴方

縣山林會では愛林思想普及標語、綴方を懸賞募集するが締切りは三月十日で規定左の如し

（標語）一般、一名二句限り、賞金一等十圓一名、二等五圓二名、三等二圓五名（綴方）小學生一名綴三百字以內、賞金一等五圓（學用品）二名、二等二圓同五名、三等一圓十名、選外佳作薄謝二十名

申込縣廳小林課內福島縣山林會、發表四月一日

修養講演
平鐵では昨十九日午後三時より檢車所講習室に於て東京鐵道青年會館巡回講師三島德藏氏の『事故防止とサービス』と題する精神講演を開催したが非常な盛會であつた

戶石局長視察
平局長戶石清氏は四月一日より一週間の豫定で新潟縣高田、直江津、長岡各局の事務視察の爲出張すると

舊年賀廢止
渡邊村の更生策

渡邊村では自力更生の第一歩として本年から舊年賀廻禮を廢止し十六日午前十時

約廿五萬圓增收
豊漁だつた昨年の小名濱

小名濱町磐城水產工業株式會社鮮魚委託販賣部調べによる同港入船別水揚額は

地船五十三萬千三百二十九圓十八錢	萬六千六百二十二圓、煮干萬六千五百十貫以下の品目六千五百六十五圓
廻船五十二萬六千五圓十六錢	一萬七千六百四、同十貫以下の品目六千五百六十五圓
合計百五萬七千三百八十四圓三十四錢	計十萬七百八十七圓の高額に上つてゐる

で、前年度に比し地船十萬千六百五十五圓九十錢、廻船十四萬六千一百七十八圓四十九錢、合計二十四萬七千九百三十四圓三十九錢

同港魚肥及煮干製造高は魚肥七

入港一萬隻
去年の出入船舶

昨年度に於ける小名濱入港機械底曳三、三三四　網船二、〇六三　揚繰網一、二五八　流二二　大敷網二九八　鰹船一、三三七　計一、七七〇

商職員會議
平商校では今二十日放課後職員會を開き生徒募集入學考査に就いて種々協議した

運轉手騙し送檢
去る十一日情婦戀しさから運轉手を騙まして東京から石城郡に入り込み運轉手を出し拔いたが自動車を持て餘して車內のオーバー、手袋、帽

用便を裝つて乘逃げ
新手の薩摩の守に
近く平區で公判開廷

住所不定無職双葉郡熊町村大字小入野赤野谷地生れ吉田幸作(二四)が去る八日正午頃茨城縣多賀郡日立町宮田一二二一貨物自動車業堀江常太郎方に至り叔父である原町驛助役が今度退職して日立鋼山に働く事になつたから引越荷物の運搬を頼むと稱し賃金四十圓の約束で午後二時頃同家運轉手石川二三男同助手木下幸太郎と同乘出發、同六時半頃富岡町入口の坂路に差掛つた處突然腹が痛むとて用便を裝ひ行衛を晦まして捕はれた事件は過般來平區三堀檢事係り取調べ中の處近く中島判事係り公判を開廷すると

永戶組合村會
永戶村組合村會は今二十日役場內に招集左記案件を附議した

昭和七年決算、九年度豫算、外數件

二十一日

日出　六、二二　月出前　一〇、〇七
日沒　五、二八　月沒前　〇、一六
滿潮後　一、一〇　干潮前　二、三五
滿潮後　九、一〇　干潮後　四、二五

壁宿	八日	收	友引	月	一	癸酉	水曜	新
	十一日			二十二		癸亥		

階判定廳舊
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神號

▲一白の人　一事か遂げて萬事に好影響を及ぼすべき日▲二黑の人　幸運に會し事業進展すれ共病厄盜難に注意▲三碧の人　亀裂勝しく險惡の日萬事控目なるがよろし▲四綠の人　見込違ひを生じ意外の窮境に陷る凶運の日▲五黃の人　自己の行動は衆人くわん視の中にあり慎むが吉▲六白の人　大望を懷き金功を欲し一身を過つに至る日▲七赤の人　根幹太りて枝葉は益繁榮する如き榮達の日▲八白の人　四圍の形勢益好轉して希望を遂げ滿足の日▲九紫の人　我意を振揮ひて一家に風波を立つる日警戒

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社直油特約店
營業種目
石油、瓦斯發油、輕油、重油、モビール油、マシン油、機械油、類、胡麻、種水、植物油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ
關彰商店平支店
電話六一番
本店　水戶線下館驛前
（電話五五番）
支店所在地
茨城縣土浦町田宿（電話六五三）
常磐線關本驛前（電話八二四）
常磐線四倉驛前（電話平潟五四）
（電話四八）
◇海上給油及油槽所
久慈濱、大津、平潟

耳鼻咽喉科專門
平町田町七〇番地
山內醫院
醫學士　山內亨吉
入院隨意
病室完備
電話六九一番

眼科專門
加藤眼科
平町南町
電話七二番
診療時間　毎日　自午前八時　午後九時迄

お醫師は……ヤマフル
鹽屋
味噌醬油
たひら正宗
經節食料品
山崎合名會社
福島縣平町
電話（營業部一〇番　本店二七番）
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

一第一品質
電話二六八番
平牛乳合
平町・九品寺前

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
X光線科
平南町
上田醫院
病室完備
（電話一二九）

廣告
平町六丁目
木村醫院
電話三〇九番
大和田醫院